

## 平成 29 年 1 月 定例教育委員会 議事録

日 時 平成 29 年 1 月 31 日 (火) 開会 16 時 02 分  
閉会 16 時 54 分

場 所 教育委員会室

出席者 教育長 寺岡 悌二  
教育委員 福島 知克 教育委員 (教育長職務代理者)  
高橋 護 教育委員  
小野 和枝 教育委員  
議事録署名委員 高橋 護 教育委員  
教育庁 湊 博秋 教育参事  
篠田 誠 学校教育課長  
永野 康洋 生涯学習課長  
杉原 勉 スポーツ健康課長  
末光 淳二 教育総務課参事  
猪俣 正七郎 学校教育課参事兼総合教育センター所長  
矢野 淳子 人権同和教育啓発課参事兼学校教育課参事  
三木 武夫 別府商業高等学校事務長  
三宅 達也 教育総務課長補佐兼教育企画係長  
志賀 貴代美 教育総務課長補佐兼指導主事  
大嶋 健司 教育総務課主任  
傍聴人 1名

欠席者 教育委員 明石 光伸 教育委員

議事日程 第 1 議事録署名委員の指名について  
第 2 平成 29 年度「別府市教育行政基本方針」について  
【平成 28 年議第 66 号】 ※継続審議  
第 3 別府市立学校職員の給与等に関する条例の一部改正について  
【議第 1 号】

その他 (1) 平成 28 年度卒業 (園) 式・平成 29 年度入学 (園) 式の出席 (案)  
について  
(2) 2 月定例教育委員会の開催日程について

# 議 事 録

## ◎ 開 会

**寺岡教育長** では平成 29 年 1 月定例教育委員会を開催いたします。明石委員は、本日公用のために欠席でございます。

---

## ◎ 議事録署名委員の指名について

**寺岡教育長** 議事日程第 1、議事録署名委員の指名につきまして、この度は高橋護委員にお願いを申し上げます。

---

## ◎ 平成 29 年度「別府市教育行政基本方針」について

**寺岡教育長** 次に議事日程第 2、平成 28 年 12 月定例教育委員会からの継続審議事項でございますが、平成 28 年議第 66 号 平成 29 年度「別府市教育行政基本方針」についてでございます。この件につきまして提案理由の説明を求めます。

**教育総務課参事** 平成 28 年議第 66 号 平成 29 年度「別府市教育行政基本方針」について、別府市教育委員会所管事務委任規則第 2 条第 1 項第 1 号の規定により、前回に引き続き議決を求めるものでございます。お手元の別添資料をご覧ください。まず表紙につきましては、右上に A とあります案は、志高湖畔の写真となっております。それ以外に別紙で B 案、C 案、D 案が 1 綴りになっておりますが、B 案は別府公園内、C 案は鉄輪の湯けむり展望台からの景色、D 案は別府市内の子どもたちの様子となっております。ご参照の上、教育委員の皆様のご意見を伺いたいと考えております。次に見開きですが、一番上に「『教育のまち 別府』を目指して」ということを掲げております。次の教育目標は、本日の別府市総合教育会議でも議題となりましたが、「地域に学び、未来を創る人づくりの推進」を掲載させていただいております。平成 29 年度重要施策では、昨年度市長より、漠然としたものではなく、何をしたいのかははっきりわかるようにした方が良いというご意見がありました。平成 28 年度と同様に、市長公約に関わる部分と懸案事項に関わる部分の重要施策を掲載させていただいております。左下にはコミュニティ・スクールの概要を掲載し、詳細は裏面に掲載しております。右下には、幼小中連携教育の推進を本年度同様 1 つの大きな柱として取組んでいきたいということで、掲載しております。図にありますように、1 つの中学校区で中学校、小学校、幼稚園が連携した教育を進めていくということです。更に開いていただくと、これまでと同様に別府市総合計画の枠組みに沿って、教育委員会の所管部分を整理しております。はじめに、黄色の「重点目標 【幼稚園・学校教育】」は学

校教育に関する部分、教育環境に関する部分で別府市総合計画と連動した内容となっております。次に、緑色の「重点目標 【生涯学習】」では、生涯学習から人権教育に関する部分、社会教育に関する部分、社会体育に関する部分で別府市総合計画と連動した内容となっております。最後に裏面ですが、一番上に「教育組織」ということで、機構改革により「教育政策課」、「社会教育課」への変更を掲載しております。そして、コミュニティ・スクール正式実施2年目ということで、昨年度も主な施策として掲載していましたが、今回もその説明とコミュニティ・スクールの基本的な流れを示しております。なお、写真の色合いやカラーリングは、印刷の段階できれいにしてもらっております。以上でございます。

**寺岡教育長** ありがとうございます。ただいま教育総務課参事より議決を求める説明がございましたが、これより質疑を行いたいと思います。質疑については、本日別府市総合教育会議がございましたが、その協議も踏まえながら、新たな教育元年といいますか、新しい出発になろうかと思っております。これまでの教育実践も踏まえられまして、皆様からご質疑をお願い申し上げたいと思います。特に、機構改革で（教育総務課が）教育政策課に、生涯学習課が元に戻って従来の社会教育課に4月からなるということでございます。これまでの教育総務課とは機能が若干変わってくるかと思っております。いろいろな観点からご質疑をお願いします。

**福島委員** 裏面の「教育組織」の組織図なんですけど、これでいいんですか。新しい教育長になった時に、一番上に「教育長」がきて、「教育委員会」は「教育参事」との間に棒が出ているような感じじゃなかったですかね。

**教育総務課参事** 確におっしゃるとおりで、「教育長」が「教育委員会」のトップという形になろうかと思いますが、あくまでも合議制ということを表わすために、一番上に「教育委員会」を持ってまいりました。以上でございます。

**福島委員** 新しい教育委員会制度に一昨年なりましたよね。そのときに私が覚えていた組織図とは違っていたから、悪いんじゃないかなと思って言ったんですよ、良ければいいんですけど。

**寺岡教育長** 福島委員からご指摘のありました点は、責任の明確化ということが非常に大事になってきておりますので、そこはもう一度協議をさせてもらえればと思います。

**教育総務課参事** わかりました。

**寺岡教育長** 教育目標については、本日、市長も含めて別府市総合教育会議で協議がありましたけれども、「地域に学び、未来を創る人づくりの推進」ということではございますが、全国の市町村の教育委員会でも通じるのか、別府らしさはどこかというご指摘もされたことがありますけれども、いかがでしょうか。もし別府市しかない教育目標という観点からご指摘をされたら、教育総務課参事はどういう考えがございませうか。

**教育総務課参事** 代案というのは考えたことがないですけれども、ただあまり絞りすぎるのもどうかという考えは持っております。

**高橋委員** 大きな教育目標としては、私は「地域に学び、未来を創る人づくりの推進」でよろしいかなと思うんですね。重要施策の中で、具体的に実践、実行するときに、いわゆる「別府学」ということがございますので、そういう施策の中で別府らしさを構築していくという考え方でよろしいのではないかなという思いもあります。

**福島委員** 今更なんですけど、「地域に学び、未来を創る人づくりの推進」とありますよね。その前に、温泉がつなぐ地域に学びとかで書けば、少しは別府らしさも出ると思います。

**寺岡教育長** 「地域に学び」の地域に、別府市らしい文言を付け加えてはどうかというご意見です。と言いますのも、先ほど大分大学の望月副学長がお見えになって、大分大学が文部科学省に何か申請をするときに、テーマを作ったそうです。そうしたら、文部科学省から、これは大分らしさがなく、どこの大学でも通じる文言ではないかと言われたそうですが、先ほどおっしゃったような、内容でらしさを出したということはおっしゃっていました。そういった課題もあります。では、表紙の背景写真はA案、B案、C案、D案とありまして、明石委員が不在でございますが、この4つからという提案でよろしいですか。

**教育総務課参事** はい。

**寺岡教育長** A案は志高湖ですね。B案は別府公園、C案は鉄輪の湯けむり、D案は今までの各課での取組における児童生徒の様子でございますが。

**福島委員** 一番わかりやすいのはやっぱりC案ですよ、今までどおりで。A案は、桜が咲いていたら良かったですけどね。

**寺岡教育長** A案は、桜の風景がいいのではないかというご意見でございます。今までの表紙であったD案は、今回は見送る形でよろしいですか。

**高橋委員** 3年ほど続きましたからね、平成29年度から新しくなるということで。

**小野委員** 変えた方がいいと思います。

**寺岡教育長** ではA案、B案、C案の中からということで絞ります。そして、A案の場合だったら桜が咲いているような風景であれば良く、C案というご意見もありましたが、ほかに教育委員の皆様よりございますか。何か、提案された背景のようなものはございますか、これじゃないといけないというようなものが。

**教育参事** 教育委員より話が出た別府らしさということになると、C案になるかという気がしますがけれども。

**福島委員** やっぱり、「地域に学び、未来を創る人づくりの推進」というのは、変えられないでしょう。

**教育参事** はい。

**福島委員** その前に、温泉でつなぐとかを書けば、ますます。

**高橋委員** 温泉で育むとか。

**小野委員** これ（C案）は、いいですけど、手前のここ（木）が何か枯れているような感じがするのが、どうかと思います。

**高橋委員** 確かに。

**福島委員** 下の所を切った方がいいかもしれないですね。枯れているのは良くないですね、やっぱり。

**教育総務課参事** わかりました。

**教育参事** ご意見を踏まえて、内部で協議させていただきたいと思います。

**寺岡教育長** では、中身の方でございしますが、見開きで、大きく変わったのはどこか、説明願いますか。

**教育総務課参事** 特に大きく変わっているところはございません。単年度の事業の内容を掲載したものであります。

**福島委員** 中身は結構書いていますね、「別府学」や「共同調理場」についても。

**高橋委員** そうですね。

**寺岡教育長** よろしいですか。コミュニティ・スクールというのは、昨年度から全て導入されたわけですが、今後どう発展していくのか、そういう方向性はございますか。

**教育総務課参事** 2年目の学校と1年目の学校がありますので、まだ実際に回り始めた段階かと考えております。あと数年かけながら、別府市全体の会等を通じて情報交換をしていこうかと考えております。学校の方の状況から言いますと、まだ（学校運営協議会の）委員をお願いしているところではありますが、ここはもう少し時間をゆっくりかけてやりながら、委員から動いていただき、地域の方々を呼び起こしていただくような形になるまで、少し時間がかかるかと考えております。以上です。

**教育参事** 次年度の平成29年度から教育総務課が教育政策課という名前になりますので、やはり政策として今後どういう形でコミュニティ・スクールを進めていくかというのが、大きな柱の1つにならなければいけないと思います。

そういった部分を、今後各課や各学校と協議して、やはり時間をかけてより良いものに仕上げていくための役割を、教育政策課が担っていくことになるのではないかと考えております。

**寺岡教育長** ありがとうございます。

**高橋委員** (重要施策の)「⑦幼稚園における預かり保育を、4園において実施します。」で、「目標」として「預かり保育が『良かった』と回答する保護者が80%以上」と書いていただいておりますが、この具体的な意味と申しますか、逆を言うならば悪かったという方が20パーセントいると受け取られるわけですから、その辺りで目標とされている部分の意図を少しご説明いただければと思います。

**学校教育課長** 少し回答がずれるかと思いますがけれども、平成28年9月から10月にかけて1回アンケートを取らせていただきましたときには、86パーセントほどから「良かった」という回答を得ることが出来ました。何を根拠に「80%か」ということについては、平成28年度に目標を定めたときに、正直に申し上げますと具体的な根拠は特になかったのですけれども、一応の目安として、保護者から「良かった」と評価していただく最低ラインとして考えて、設定しました。

**福島委員** 預かり保育というのは、父親も母親もどこかで働いているということですね、だから預かり保育を利用すると。

**学校教育課長** 公立幼稚園の預かり保育については、就労していなくても預かっております。

**福島委員** 何が言いたいかという、別府市で働く場所があるようにしておかないと、みんな帰ってこないし、定着しないんですよ。だから、もちろんこれは大事なことですけど、段々少なくなっているんですよ、別府市で働く場所が。だから人口が減ってくるし、人口を減らさないためにここにいるように言っても、働いて給料が貰えるか増える所でないといけませんよ。何か結びつくような文言を少しでも書いてもいいんじゃないですかね、教育を受けて、卒業して、別府市にいて、ここで働くようなことが。昔はあったような感じがするんですよ、卒業したらここで働きたい、あそこで働きたいといった場所が。もうほとんどないでしょう。コミュニティ・スクールも、こういう所で働いていると面白いとか、モチベーションを作ってあげるとかで、それにつながっていくと。

**寺岡教育長** 別府市の方も、育てやすいまちづくり、働きやすいまちづくりということを行っています。

**福島委員** 言っているけれども、どこで働くかということですよ。そこに行って働いている、あるいは共働きをしていることで、預かり保育につながっているということが言えれば。

**寺岡教育長** 雇用の確保ですね。

**福島委員** 何らかの形で、コミュニティ・スクールに先生として来る人も、そういう所で働いていて楽しいよ、みたいなことを言うことによって、出て行かなくてもすむし、優秀な人が都会で勉学しても、ここに戻って来たいという気持ちにもなるので、何かつなげるような文章を今からでも作りながら、皆さんもそういったことを心掛けてやると、人口も増えてくるのではないかと。ただ、卒業したらみんないなくなるのは、やっぱり寂しいですね。

**寺岡教育長** では、「預かり保育が『良かった』」というのは、保育内容もそうですが、働く場所にもつながるような形にした方が良いということですね。

**教育参事** 平成28年度はいろいろな形で市長と、または別府市総合戦略会議で協議する場がたくさんございました。預かり保育については幼稚園児のみ1年間で、小学校に入れば学童保育につながるような形になっていくという状況の中で、教育委員会だけの協議事項と同日に、商工課関係の協議事項もございました。その内容は、やはり子どもたちはどのような将来の目標を持っているのかという部分で、起業については商工課やONSEN ツーリズム部で協議をして、今後こういった形で進めていくのかということでした。本日の別府市総合教育会議の中でも出ましたけれども、福島委員がおっしゃられたように、優秀な子どもたちが出て行って、戻ってきても働く場所がないというのが、別府市としての1つの問題点かと思っておりますので、その辺りは横のつながりということで市長からも強く言われており、子どもたちがこういった将来の目標を持っているのかについては、別府市教育委員会が調査をしなくてはいけないのかなという協議内容で進めさせていただいておりますので、今後つながるような形でどんどん進めていきたいと思っております。

**福島委員** 何か少しでも文言を入れませんか。要するに、それに対して教育をしていく教諭が何故かと思えば、そういうことがあるから教えられるようになるわけで、何もないと教諭もわからないですよ。

**教育参事** わかりました。何か入れられないか、少し検討したいと思います。

**寺岡教育長** では、そこについてお願いします。その他ございませんか。私から、「⑤子どものむし歯ゼロに向け、むし歯予防の3本柱（歯磨き指導・食育推進・フッ化物活用）の取組を進めます。」で、本年度取組んでおりますけど、その状況はどうですか。

**スポーツ健康課長** まず「フッ化物活用」と書いてありますが、「フッ化物洗口」に変えた方がいいのではないかと考えておまして、そこは内部で検討したいと思います。具体的には3年前から取組を始めており、年次計画で6年計画ということで段階を追って準備を進めてまいりました。来年は、その順番でいきますと幼稚園児、小学校1年生、小学校2年生となります。

**福島委員** 「⑥学校給食へ県産品100%を目指した地産地消献立を導入します。」と

書いていますけれど、もうかなり使い古したわけですよ。私は、居酒屋でおいしい所がありますけど、どこでもいいからそのメニューを教えてもらって、給食でやってみてはと思います。あまり費用がかかるのは駄目ですけど、結構おいしい豚汁定食を作っている所もありますし、豚キャベツ鍋等、費用がかからないものを指導してもらいつつ、栄養士にちゃんと計ってもらいながらやってみると、このレシピはあそこで、あのレシピは向こうといったことが出来ますけど、どうですか。

**スポーツ健康課長** 先ほどの「地域に学び」という文言にかけるという意味でも、別府オリジナルで、冷麺は無理でしょうけれども、コストのことも考えながら検討したいと思います。

**福島委員** 冷麺は無理でしょうけど、結構コストが安いものもあるから、地産地消よりも私はいと思いますけどね。出来るだけ地産地消に沿いながらも、〇〇食堂のメニューとかで出してみてもどうでしょう。

**高橋委員** 先日、報道ステーションで、全国学校給食甲子園で北海道の学校給食センターが優勝したという報道がありました。その中で、作った内容を子どもたちにお知らせして、献立を考え、調理をしていましたが、そういう教諭は別府市内にいらっしゃるのでしょうか。

**スポーツ健康課長** 栄養教諭という職員がいます、授業でもそういったことをしています。

**高橋委員** その教諭が、ジャガイモを作っている農家を伺って、その農家も子どもたちのためならと一生懸命作っていらっしゃいました。その作物が出来ないときでも、子どもたちが食べてくれるんだっただけということでも一生懸命になっていらっしゃって、学校に来て、これはこういうふうで作ってという説明をされていました。地域と子どもたちとの結びつきでそういう教諭がいらっしゃって、そこでは食育ということがものすごく育まれているなという感じを受けたんですが、地産地消の大事さというのは、結局そこがあるかないかではないかと思います。だから、今日の献立の中のこのハクサイは別府市のハクサイですよということで終わらないで、もう1つ踏み込んだものがあると、子どもたちの気持ちも変わってくるんじゃないですかね。

**小野委員** そうですね。農家の方がどういう思いをしてこれを作ってくれたかということを見ると、やっぱり給食は大事においしく、楽しく残さずに食べようということ、子どもが話していましたね。

**スポーツ健康課長** この文言については、再度検討させていただきたいと思います。ありがとうございました。

**寺岡教育長** この「地域に学び」というのは、非常に幅広く深いものがあります。生涯学習課長、「⑫」の「別府学」については、そういう地産地消のような部分が、産業の中でございますか。

**生涯学習課長** 地産地消という形では出てまいりません。ただ、別府市の食べ物として、とり天や冷麺等を紹介した部分はございます。

**福島委員** 別府市の方が作ったレシピで、焼き芋を干すのがありますが、ものすごくおいしくて、金時芋のような上品な味になります。そういった物をたくさん並べないと、故郷という感じがしないです。

**小野委員** 干し芋ではないんですね。

**福島委員** 干し芋ではないです。焼き芋で、皮を剥いているんですよ。

**スポーツ健康課長** 干し芋を扱う業者が作っていますね。

**小野委員** 簡単でよさそうですね。

**教育参事** 芋にしても、子どもたちが芋掘り体験をして、料理をして、そこで終わってしまっていたのですが、その先に一步踏み出して考えていかないといけないかと思えます。

**高橋委員** そうです、そういうことなんです。

**教育参事** その辺りを栄養士が知っているかどうかですが。

**寺岡教育長** そうですね。非常にいい発想だと思います。「別府学」は「小中学校において」と書いていますけれども、（生涯学習課が）社会教育課になるのに伴い、社会教育としてどういう活動があるのですか。

**生涯学習課長** 社会教育として特にというわけではないですが、基本的に小中学生全員に冊子を配布し、中学生の分は大人でも読めるかと思っておりますので、地区公民館等に置くことは考えております。また、説明の中には入っておりませんが、それ以外の方に関しましても油屋熊八を主題にした DVD 等で見れるよう、予算の関係もございますが、来年度計画させていただきたいと思えます。以上でございます。

**福島委員** やっぱり一步踏み出さないと、面白くないです。

**寺岡教育長** その他、ございませんか。

**小野委員** 「⑬別府を冠とした少年スポーツ大会の開催に向け、競技団体との協議・調整・支援に取組みます。」というのは、毎年同じようにして挙がっているんですけど、新たなものの予定はあるんですか。

**スポーツ健康課長** こちらについては、既にやっているところをバージョンアップするという考えです。予算が伴う部分もございますので、既存のものをもっと広げ、例えば今まで九州大会でやっていたのを西日本大会まで広げられるようにすることで、私どもの方で体育館の使用料ですとか、あるいは別府市長

杯のトロフィー贈呈をするような形でやっていきたいと考えております。

**寺岡教育長** その他、ございますか。

**福島委員** あとは、ラグビーを入れなくてもいいんですかね。

**小野委員** そうですね。

**福島委員** 国民文化祭も来年度だからどうかということはありませんけど、それでもオリンピックも近いからということで、入れておいた方がいいんじゃないかなと思います。

**教育参事** 公認チームキャンプ地決定前に、入れておくのがどうかという問題があります。

**スポーツ健康課長** ラグビーワールドカップ2019に向けて、平成28年12月末に、正式に別府市が（公認チームキャンプ地に）立候補するという事で手を挙げました。全国の自治体76件が手を挙げておまして、既に平成29年1月19日（木）にラグビーワールドカップ2019組織委員会が視察に来ました。最終的に、今年の春以降に公認チームキャンプ地が絞り込まれます。現在までの例からいくと、76から40くらいに絞り込まれるのではないかなと思われ、そこでふるいにかけられて落ちると、そこで終わりになってしまうのですが、そのせめぎ合いの中で、実は組織委員会からの制約がございまして、例えば別府市実相寺多目的グラウンドを練習会場にする、〇〇ホテルを宿泊地とする、〇〇プールをアイシング用にする等を公開してはいけないと現在なっております。ですから、そこについての言い方は考えないといけないと思います。ラグビーワールドカップ2019に向けてというのはもちろん入れたいところではあるのですが、文言をうまく選んで、大規模スポーツイベントに向けて等になるかと思われま。

**寺岡教育長** よろしいですか。

**福島委員** 国立公園の内、8つを選考して、海外からの人も日本人もわくわくする公園作りをするという計画が昨年策定されましたよね。それに阿蘇くじゅう国立公園が入っているんですよ。この辺りも阿蘇くじゅう国立公園の一部でしょう。

**スポーツ健康課長** はい。

**福島委員** 1回お調べになって、そういうのを入れると、予算が取れるようになってますね、環境省の関係で。九州は、霧島錦江湾国立公園と阿蘇くじゅう国立公園と慶良間諸島国立公園の3つが入ってますね。その他で阿寒国立公園、十和田八幡平国立公園、伊勢志摩国立公園、あとは忘れましたが、せっかく選ばれたからですね。

**寺岡教育長** 今度4月早々に防災の日がございますよね。別府市における防災教育と

というのは、かなりの位置を占めると思うんですけど、それは敢えて重要施策としては必要ないんですかね。

**スポーツ健康課長** まさに平成 28 年 4 月 16 日（土）（の平成 28 年熊本地震）を忘れないようにということで、危機管理課とも話をしまして、来年度の平成 29 年 4 月 14 日（金）もしくは 4 月 17 日（月）に防災訓練をやってはどうかというご提案を実は受けておりまして、担当課としては是非協力したいと話をしております。やはりその教訓は絶対に忘れてはいけないということでございますので、ある意味重要施策として、まず学校が地域の模範になる取組を、別府市教育委員会として入れるべきだと改めて思いました。

**寺岡教育長** そうですね。教育総務課参事、それと関連して「⑧」の空調機器設置というのは、学習環境の快適さもありますけれども、夏と冬のことを考えたときに、教室に空調機器があれば高齢者や障がいのある方への防災的な要素も少しはあるという意味での設置という捉え方でいいですか。

**教育総務課参事** はい、結構です。

**寺岡教育長** その他、よろしいですか。生涯学習課長、図書館、美術館の整備については、来年度は 1 年間だけ「調査・研究」ということでよろしいですね。

**生涯学習課長** はい。これにつきましては、本来であれば基本計画ということになるのですが、建物や場所の問題等が出てまいりますので、そこまでは性急過ぎるということで、とりあえず来年度は「調査・研究」を行いたいと考えております。以上でございます。

**寺岡教育長** ありがとうございます。

**福島委員** これは、基本設計というわけではないんですか。

**生涯学習課長** そういうわけではないです。

**福島委員** 基本設計の前の段階ですか。

**生涯学習課長** そうです、はい。

**寺岡教育長** その他、質疑ございませんか。非常に重要な背骨となるような部分でございますので、その他あれば是非お願いしたいのですが、よろしいですか。では質疑等もないようでございますので、以上で質疑を打ち切りまして、平成 28 年議第 66 号は原案に対し補足や附記等もございませけれども、それを基に事務局で適宜修正することで議決ということで、ご異議ございませんか。

※全会一致で議決

**寺岡教育長** ご異議もないようでございますので、平成 28 年議第 66 号は議決いたしま

した。

---

## ◎ 別府市立学校職員の給与等に関する条例の一部改正について

**寺岡教育長** 次に議事日程第3、議第1号 別府市立学校職員の給与等に関する条例の一部改正について、提案の理由を求めます。

**教育総務課参事** 議第1号 別府市立学校職員の給与等に関する条例の一部改正について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により意見を求めるものでございます。

別府市立幼稚園教諭の給与は、大分県職員の例により支給していますが、人事評価については別府市教育庁職員の人事評価実施規程により行っており、大分県とは異なる評価をしております。大分県では、勤勉手当の額を決定する際に人事評価による勤務成績を基準としますが、別府市での評価をそのまま充てることが出来ないため、別府市の基準により勤勉手当の額を定めます。また、義務教育等教職員特別手当について、現行では、正規職員の額は教職員の2分の1であるのに対し、再任用職員にはその旨の規定がなかったため、正規職員と同様にするために別府市立学校職員の給与等に関する条例の一部改正するものです。詳しくは3ページをご覧ください。具体的には第8条第1項で、職員の諸手当について「県職員の例による。」と規定しておりますが、左側の改正案で第8条第2項を追加し、「前項の場合において勤勉手当の額の算定にあたり、勤勉手当基礎額に乗じる割合の基準は市職員の例による。」と規定したいと思っております。また、第13条第1項では再任用職員の勤勉手当を含む給与について規定しておりますが、改正案では「義務教育等教職員等特別手当の支給については、県職員のうち小、中学校教職員の例による額に2分の1を乗じた額とし、」を追加し、また第13条第2項を追加し、「前項の場合において勤勉手当の額の算定にあたり、勤勉手当基礎額に乗じる割合の基準は市再任用職員の例による。」と規定したいと思っております。以上でございます。

**寺岡教育長** ただいま教育総務課参事より意見を求める説明がございましたが、これより質疑を行います。何かご質疑等ございますか。よろしいですか。

※了承の声あり

**寺岡教育長** では、質疑等もないようでございますので、以上で質疑を打ち切り、議事日程第3については原案に対し同意を与えることで、ご異議ございませんか。

※全会一致で議決

**寺岡教育長** ご異議もないようでございますので、議第1号は同意を与えることに決定いたしました。

---

◎ 閉会

**寺岡教育長** その他、何かございますか。  
ないようでございますので、以上をもちまして、平成 29 年 1 月定例教育  
委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

- 
- ・発言の内容について、単純ミスと思われる字句、重複した言葉づかい等を整理の上作成しています。